

第16回 信州環境ECOコンテスト

テーマ 「もしもの時にも、ホッとできる避難施設」

審査結果

公益社団法人 長野県建築士会

青年・女性委員会

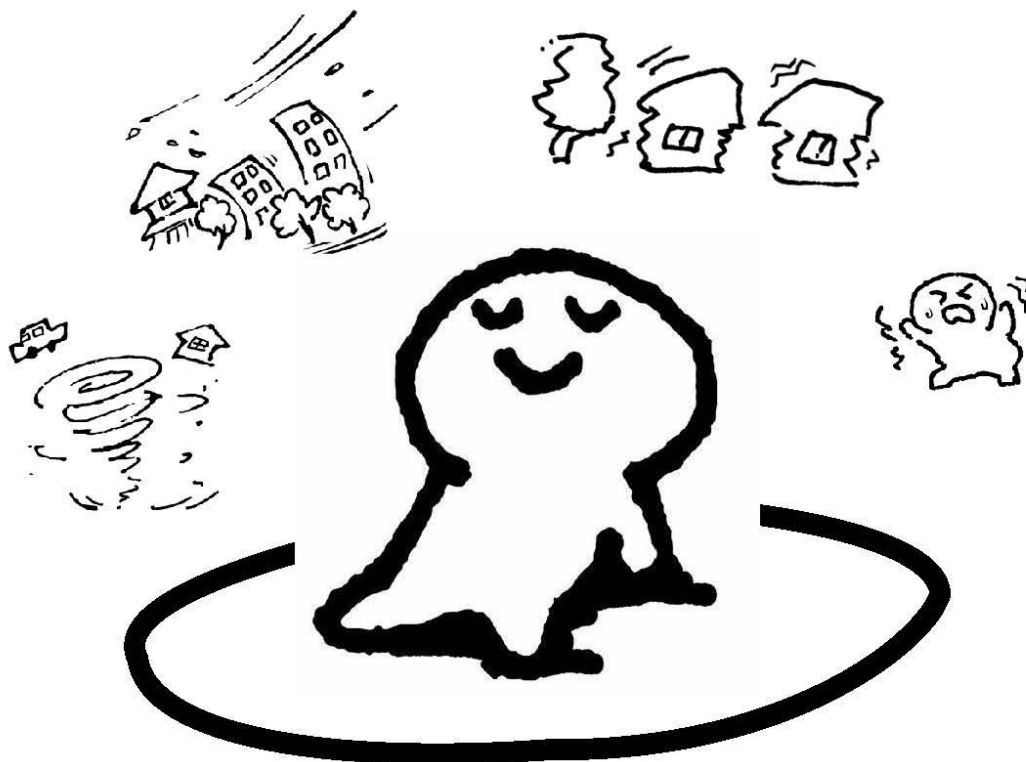
令和6年12月21日(土)

第16回

信州環境ECOコンテスト

テーマ

「もしもの時にも、ホッとできる避難施設」



コンテスト趣旨

建物に携わる職業は、家屋や住環境づくりを通して、地域住民の命と暮らしを守り続けています。もし自分の住んでいる地域で災害が起きたなら、あなたは地域のためにどのような行動をしますか？自分の地域の特徴、災害の歴史は知っていますか？何が必要でしょうか？このコンテストでは、自分でそれらを調べ、どのような避難施設となるのが望ましいかを考えることで、もしもの時に協力し合い、復興に向けて前進し、安全で安心できる地域づくりを学んでいただきます。

応募締切 令和6年10月31日（木曜日）必着

主催 公益社団法人 長野県建築士会

後援（予定） ・長野県 ・長野県教育委員会 ・長野県木材協同組合連合会 ・信州木材認証製品センター

問い合わせ先 長野県建築士会WEBサイトにて <http://www.nagano-kenchikushikai.org/>

第16回 信州環境ECOコンテスト

【テーマ】

「もしもの時にも、ホッとできる避難施設」

被災、、、そんな時にもその現実を和らげることができる避難施設。

災害時、少しでも前向きな気持ちになれる、切り替えてまず一步目を踏み出せる、そんなキッカケになれる避難施設アイデアを発想してください。

または、学生の視点で、今ある避難施設の問題点の解決策を考えましょう。

今求められている、地域や施設の特徴を考えた、柔軟で効果的な、みんなが安心して使える避難施設の形を探ってください。

頂いた素晴らしい提案は、可能ならば実現していくことも考えています。

【提案条件】

1. 提案はコンテストの趣旨に沿ったものとする。
2. 建設地(敷地)はできるだけ長野県内の実在する「避難施設」「避難場所」を想定することが望ましい。
3. 構造及び規模の指定は特になく、施設全体の計画、または個人のスペースのような小規模なものでもよい。
4. デザインは、地域や提案施設の特徴を取り入れること。
5. 新設、改装は問いません。
6. 災害の種類は定めていませんが、できるだけ地域に沿ったものを想定してください。
7. ECOの解釈は自由な発想で捉えて提案してください。省エネ、創エネのみならず、エコロジー、エコノミー等の視点で考えて頂いても構いません。

【注意事項】

- ①応募作品は、二次審査（公開審査）会場にて展示をします。
- ②応募作品は特別な理由を除いて返却はできません。
- ③応募作品に関する一切の権利は、主催者側に帰属します。
- ④ご不明な点がありましたら事務局までお問い合わせください。

【主催】

公益社団法人 長野県建築士会



Tel 026-235-0561

Mail

info@nagano-kenchikushikai.org

※本コンテストは青年・女性委員会が担当しています。

【後援】（予定）

長野県、長野県教育委員会、長野県木材協同組合連合会、信州木材認証製品センター

【応募資格】	長野県内の学生等 ※グループ、個人は問いません。
【応募期間】	令和6年10月21日(月)～令和6年10月31日(木) 必着
【応募要領】	A3用紙1枚とする。表現方法は自由とし、提案の趣旨や内容が分かりやすく伝わるように表現すること。
【提出方法】	作品提出先へDVDの郵送または持ち込み 作品はA3サイズのPDF形式とし、そのファイル名は「No. 学校名 氏名」としてDVDに保存してください。 複数名が応募する際は、学校単位で応募し、学年別にフォルダ分けしたものをDVDに保存してください。 応募者の氏名等は応募作品一覧表（応募シート）にしたがって内容を記入し同封してください。 ※応募作品一覧表(応募シート)は当会ホームページよりダウンロードができます。 応募後の作品及び応募シートに記載された内容の変更はできません。
【審査方法】	審査は一次審査（書類審査）、二次審査（公開審査）の二段階方式で行います。 ◇一次審査（書類審査） 全応募作品を対象に青年・女性委員会で作品を審査し、一次審査通過作品は応募者または、各学校へ書面にて通知します。 ◇二次審査（公開審査） 一次審査通過作品による作品のプレゼンテーション(4分)および審査員からの質疑形式による公開審査を行います。 全発表・質疑応答が終了した後、入賞作品を決定します。 ※一次審査通過者には、二次審査のプレゼンテーション用データを準備していただきます。 データ容量、表現方法(当日、模型持ち込みも可)は自由となります。発表用に使用するPCはデータエラーを防ぐため、極力ご持参をお願いいたします。ご持参できない場合は、運営側のPCをご使用ください。その際は最善を尽くしますが、データエラーが発生する可能性がありますのでご了承ください。
【審査員】	長野県デザイン振興協会 (予定) 長野県建設部 長野県工業高等学校長会 会長 公益社団法人 長野県建築士会 会長他 ※順不同敬称略
【表彰・発表】	最優秀賞、優秀賞 他（個人）、最優秀校賞（団体）は二次審査にて発表を行う。後日、(公社)長野県建築士会ホームページに掲載を行う。
【問い合わせ・作品提出先】	〒380-0872 長野県長野市大字南長野字宮東426-1 TEL026-235-0561 公益社団法人 長野県建築士会 事務局
【スケジュール】	◇一次審査結果発表：令和6年11月上旬を予定 ◇二次（公開）審査：令和6年12月中旬実施予定 ◇ワークショップ：建築士がテーマに関するワークショップを随時開催いたします。お問い合わせください。
【その他】	諸事情により記載内容に変更が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

令和6年度
第16回 信州環境ECOコンテスト 最終審査結果

賞	氏名	所属	学科	学年	タイトル
最優秀賞	壬生 明里	長野県飯田OIDE長姫高等学校	建築学科	2	適材適所
優秀賞	櫻井 旭	長野県飯田OIDE長姫高等学校	建築学科	1	グランピング施設を避難所へ！『エコ・シェルター』
奨励賞	坂本 羽奈	長野県上田千曲高等学校	建築科	2	大好きな本に囲まれた避難生活！～本棚がパーティションになる図書館避難所～
審査員特別賞	宮下 翔	長野県飯田OIDE長姫高等学校	建築学科	2	近未来的なドームの中で安心を
入賞	木村 亜実	長野県飯田OIDE長姫高等学校	建築学科	1	まったり読書 ～日頃使う図書館で～
入賞	福山 こころ	長野県長野工業高等学校	建築学科	1	ごみ処理場が避難所に！？
入賞	竹内 心乃	長野県上田千曲高等学校	建築科	2	ポトラピカ
入賞	松下 翔	長野県池田工業高等学校	建築学科	1	もしもの時に役立つ観光施設
入賞	大池 陵翔	長野県長野工業高等学校	建築学科	1	松代鉄道999
入賞	高山 大志	長野県池田工業高等学校	建築学科	2	移動式シェルター

※入賞は発表順に掲載

最優秀校賞	応募学校名	応募作品数
○	長野県飯田OIDE長姫高等学校	81
	長野県上田千曲高等学校	6
	長野県池田工業高等学校	29
	長野県長野工業高等学校	41
	合計	157

(順不同)

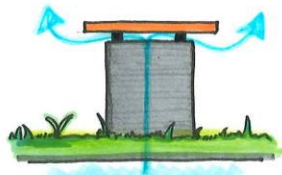
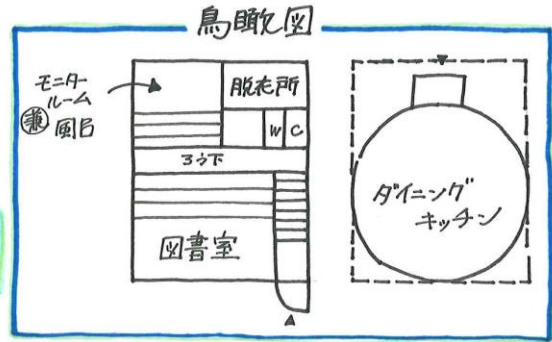
適材適所

～地域の「不足」を補う避難所～

ドーム型の屋根

「ジオデシックドーム構造」と言われる。
低重心のため、倒壊の恐れが非常に少ない。
内部に柱がなく、強い揺れでも屋根が
落ちてくる心配がない。

ドーム型は室内の空気が循環しやすく、熱量
のロスが少ないため、省エネに貢献。

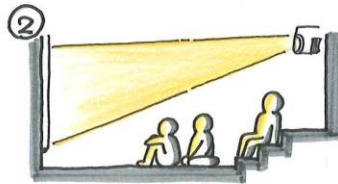
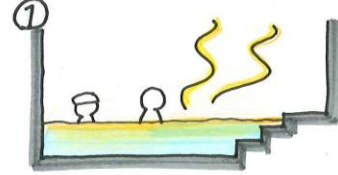


室内の空気

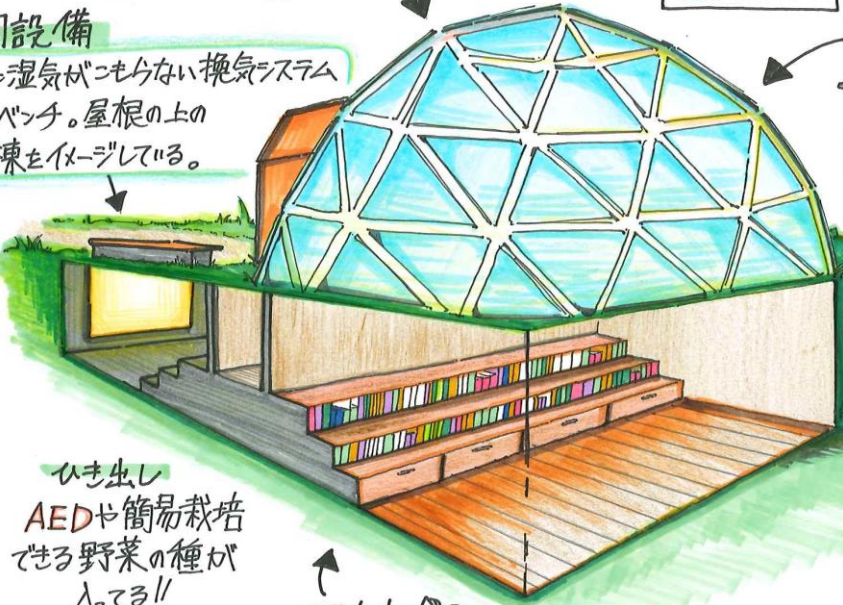
空調設備
地下に湿気がこもらない換気システム
付きベンチ。屋根の上の
換気棟をイメージしている。

ECO!

2種類の使い方ができる
プロジェクタールーム



- ① お湯を貯めて入浴できるお風呂
- ② みんなで集まってニュースを見たり、映画を見たり
段差部分を活用して、入浴しやすく、腰かけに
なり、後ろに座っている人でもプロジェクタールの映像
を見やすくする。



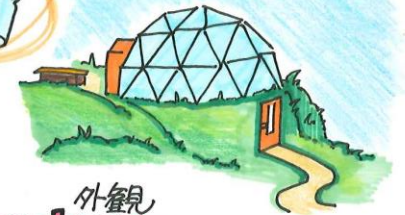
ひき出し
AEDや簡易栽培
できる野菜の種が
入ってる!!

図書室

もしもの時に役立つサバイバル知識が載った本や図鑑、
様々なジャンルの本が置いてある。
避難所として機能しない日頃は、図書館が遠くて
行けない人や忙しくて図書館に寄れない人のために開放する。
図書室も同様に段差部分を腰かけとして利用できる。

ダイニングとキッチン

避難所に備蓄されている食料や水の供給、
持ち寄り食料を使って配給ができる。

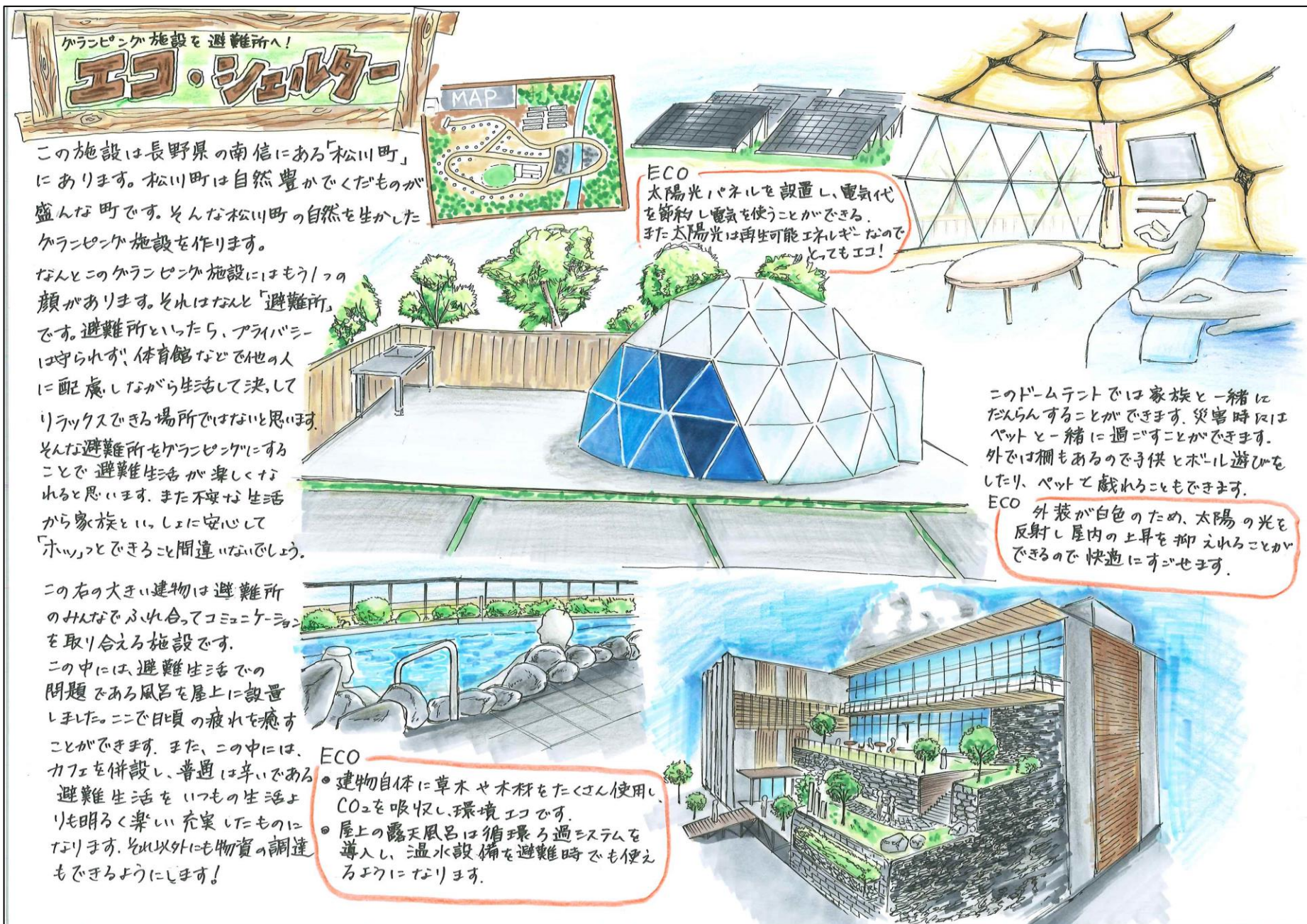


外観 コンセプト

「私の住んでいる地域で」
不足するもの

- ① 地震に強い丈夫な建物
- ② 食料の確保 (配給など)
- ③ 最新の情報が得られる
環境
- ④ お風呂・トイレなど衛生面の
設備

→ これらの課題を補うための
避難所を計画



グランピング施設を避難所へ!
エコ・シェルター

この施設は長野県の南信にある「松川町」にあります。松川町は自然豊かでくたものが盛んな町です。そんな松川町の自然を生かしたグランピング施設を作ります。

なんとこのグランピング施設にはもう1つの顔があります。それはなんと「避難所」です。避難所といったら、アライバシーは守られず、体育館などで他の人に配慮しながら生活して決してリラックスできる場所ではないと思います。そんな避難所をグランピングにする事で避難生活が楽しくなれると思います。また不安な生活から家族といっしょに安心して「ホッ」とできること間違いなんでしょう。

この右の大きい建物は避難所のみんながふれ合ってコミュニケーションを取り合える施設です。この中には、避難生活での問題である風呂を屋上に設置しました。ここで日頃の疲れを癒すことができます。また、この中には、カフェを併設し、普段は辛いである避難生活をいつもの生活よりも明るく楽しい充実したものにいたします。それ以外にも物資の調達もできるようにします!



ECO
 太陽光パネルを設置し、電気代を節約し電気を使うことができます。また太陽光は再生可能エネルギーなのでとてもエコ!

このドームテントでは家族と一緒にたわんぱんすることができます。災害時にはペットと一緒に過ごすことができます。外では柵もあるので子供とボール遊びをしたり、ペットで戯れることもできます。
ECO 外装が白色のため、太陽の光を反射し屋内の上昇を抑えることができますので快適にすごせます。

ECO

- 建物自体に草木や木材をたくさん使用し、CO2を吸収し、環境エコです。
- 屋上の露天風呂は循環ろ過システムを導入し、温水設備を避難時でも使えるようにいたします。

優秀賞:『グランピング施設を避難所へ!』『エコ・シェルター』長野県飯田 OIDE 長姫高等学校 建築学科 1年 櫻井 旭